

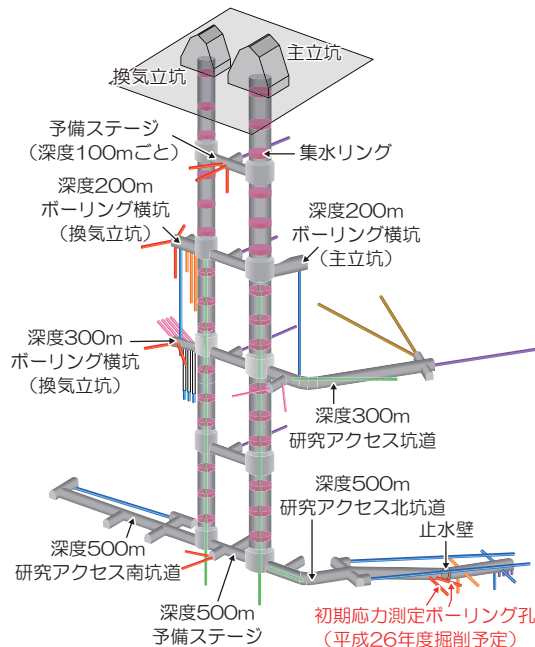
スポット
ニュース

平成26年度瑞浪超深地層研究所 事業計画

東濃地科学センターでは、地下深いところが「今どうなっているのか」「なぜそうなったのか」「将来どうなっていくのか」を知るための手法を確立する「地層科学研究」を行っています。

平成26年度の瑞浪超深地層研究所の事業計画は下表のとおり進めていく予定です。なお、現在、機構改革により研究施設計画の策定検討を進めており、策定した計画を反映します。

- 地下水水圧観測ボーリング孔
- パイロットボーリング孔
- 初期応力測定ボーリング孔
- 岩盤中の物質移動に関するボーリング孔
- 地下水水質観測ボーリング孔
- 岩盤変位計測・ひずみ計測ボーリング孔
- 断層・割れ目に関するボーリング孔



研究坑道における調査研究	地上における調査研究
①物理探査(自然電位測定) ②地下水の水圧や水質の観測 ③初期応力の測定 ・ボーリング孔の掘削(2本) ④再冠水試験(深度500m研究アクセス北坑道) ・ボーリング孔を用いた観測(地下水の水圧・水質/岩盤変位等) ・物理探査 ・ボーリングピットの埋戻しおよび埋戻し材の水理・化学的な変化の観測 ・試験環境整備 ⑤物質移動試験(室内試験/モデル化・解析) [電力中央研究所との共同研究] ・ボーリング孔の掘削 ⑥施工対策影響評価試験	①表層水理定数観測 気象観測/地下水水位観測/土壤水分観測等 ②地上の既存ボーリング孔を用いた地下水の水圧や水質の長期観測 その他 ①地質環境のモデル化(解析・更新) ②工学技術に関する研究 研究坑道の工事 ①冠水坑道への止水壁の設置 ②湧水抑制対策

5月の主な作業予定

【瑞浪超深地層研究所】

- ① 研究坑道内における傾斜計を用いた岩盤の変位計測、重力計測及び応力計測(東濃地震科学研究所との研究協力)
- ② 研究坑道内におけるニュートリノ捕捉用原子核乾板の保管(名古屋大学への施設貸与)
- ③ 表層水理定数観測(気象・地下水水位・土壤水分の観測)
- ④ 狭間川における流量観測及び研究所周辺井戸での水位観測
- ⑤ 研究坑道の掘削土及び排出水等の環境管理測定
- ⑥ 研究坑道の湧水に含まれるふっ素、ほう素を排水処理設備で除去後に排水

＜ボーリング孔を用いた地下水の観測＞

地下水の水圧・水質観測	地下水の水圧観測
◆ 地表(6孔) ◆ 深度200m,300m,400m予備ステージ(各1孔) ◆ 深度300m研究アクセス坑道(2孔) (電力中央研究所との共同研究) ◆ 深度300mボーリング横坑(換気立坑側2孔) (電力中央研究所との共同研究) ◆ 深度300m研究アクセス坑道(1孔) (産業技術総合研究所との共同研究) ◆ 深度500m研究アクセス北坑道(1孔)	◆ 深度200mボーリング横坑(主立坑側1孔、換気立坑側1孔) ◆ 深度300mボーリング横坑(換気立坑側3孔) ◆ 深度300m研究アクセス坑道(1孔) ◆ 深度500m研究アクセス南坑道(1孔)

【正馬様用地】

- ① 地表からのボーリング孔(5孔)を用いた地下水の水圧・水質観測
- ② 表層水理定数観測(河川流量・気象・地下水水位・土壤水分の観測)

瑞浪超深地層研究所の地下を体験しよう!

瑞浪超深地層研究所では、地下深部を体験できる施設見学会を開催します。参加をご希望の方は事前申込が必要となりますので、5月19日(月)までに住所、氏名、電話番号を左記の連絡先までお知らせください。また、申込み多数の場合は締切り前に受付を終了させていただくこともあります。なお、当施設見学会は毎月開催する予定です。

【日 時】平成26年5月24日(土) 9:30~11:30
 【内 容】深度300mステージ
 【対 象】小学校4年生以上

工事現場での安全の確保のため、小学生の方は4年生以上で保護者同伴でお願いします。また入坑の際は、安全装備(つなぎ服・反射ベスト・ヘルメット・安全長靴・軍手・坑内PHSなど)を着用して頂きます。工事現場ですので、狭くて急な階段等もあります。階段の昇降等が困難な方など自立歩行に支障のある方や高所、閉所恐怖症の方などは研究坑道に入坑できない場合がありますので、事前にご確認をお願いいたします。



施設見学会(深度300mステージ)

＜地層研ニュースに関するご意見・ご要望および施設見学会の連絡先＞

【ご連絡先: 東濃地科学センター 総務・共生課 まで】

☎ 0572-66-2244 (代表)
 ☎ 0572-68-7717

✉ tono-ck@jaea.go.jp (ご意見・ご要望)
 ✉ tono-kengaku@jaea.go.jp (施設見学会)



《東濃地科学センターHP》



